

大槻文庫後序

大隈伯閣下圖書刊行會
閣下を總裁の職を希世の
曲に藉と究行し文學界の
裨益を無一さうに爲し
感佩す。而も中書が就ては
其書の完然無缺を期す。申
込りなきしと存然んば
續紙十帖不収

武江年表補正

右に上中下三巻の者。いふ
上巻のみ収められ中下兩巻
缺れしに故遺憾ありとい
ふ。今其書を合す相送す



尔々完半を令る相送り
補刊ありたりとや、は程
都合上見合との報あり
折角完備と求めり、子
孫より動本にまゝ世に傳へ
申す、衆人の希望、如何
総裁の御體面を以て
相本ありかと掛念はあり

世に文學界の一人として
残念あり、是れ申す
取捨、閣下との裁行
仰き申す、いと

昭和二十二年十月十六日